

## 南区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
minamiキャンドルナイト・西原公園緑道イルミネーション		南区役所企画総務課・南区内の学生・地域の団体等			
事業目的	事業内容	活動指標	H28	H29	H30
<p>思い出に残るようなキャンドルの地上絵や打ち上げ花火など、南区の冬の風物詩として、「ふるさと意識」の醸成を図る。</p> <p>また、学生や地域の団体による体験ブース・飲食ブース、ステージプログラムなど、協働によるイベントを開催し、子どもから高齢者まで世代や地域を超えた交流を促進する。</p> <p>また、関連事業として、西原公園緑道をイルミネーションでライトアップし、地域の魅力向上を図る。</p>	<p>①キャンドルで描く地上絵・絵付け瓶等の展示 ②模擬店（障害者作業所・自治会等で運営） ③ステージプログラム（大学生による演奏、ゲーム大会・プロオペラ歌手出演） ④体験ブース（キャンドル作り体験、クリスマスツリー・スノードーム・サンタ帽作り体験など） ⑤緑道での高校生によるキャンドル作品の展示 ⑥フィナーレの打上花火 ⑦緑道イルミネーション</p>	イベント参加者数	2,200人	2,600人	2,800人
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
○ 当イベントは、南区の冬の風物詩としてふるさと意識の醸成を図ることや、イベント参加者と来場者の交流を促進することを目的に行っている。イベントの実施にあたっては、区が主導のうえ、地域や南区内の学生と協働によって実施することが適当である。	◎ イベントは、南区内の大学生と企画会議を行いキャンドルのデザインやステージの進行内容を決定したほか、地域団体等による模擬店の出店や、区内の高校生や認定こども園、グループホーム、障害者作業所による展示など、様々な団体との協働により開催している。	◎ キャンドルナイト10周年を記念して、10,000個のキャンドル瓶の展示のほか、関連事業として、西原公園緑道をイルミネーションでライトアップした。また、新たな取り組みとして緑道へ誘導するために駅陸橋にもイルミネーションと看板を設置するなど、キャンドルナイトとイルミネーションが連携し、イベントを盛り上げた。	○ 作業量の多いイベントであるが、毎年、150人を超える学生ボランティアスタッフが参加しており、区の負担は増えていない。また、学生がSNSなどを活用し、定期的にイベントの告知を行うなど、効率的に広報も行っている。		
⑤自立発展性	総合評価				
— 当イベントは、区が主導のもと、今後も、区内の大学や学校、地域の団体等と連携し、行政にはない柔軟な発想力を取り入れてイベントを作り上げていくことが期待される。引き続き、学生や各種団体に参加を呼びかけ、区と協働してイベントを行っていく。	○ 今年度は、前年度より来場者が増え、過去最多の来場者数となった。夕方からのイベントでありながら、イベントの最後まで来場者が残り、模擬店も売り切れとなるほどの盛況であった。また、緑道のイルミネーションについても多くの方が来場し、賑わった。子どもから大人まで、幅広い年代の来場者が見受けられ、来場者と学生スタッフ、地域が互いに交流し、事業目的を達成することができた。				
今後の方向性（課題、改善提案等）					
<p style="text-align: center;">拡充 継続 見直し 廃止</p>	<p>当イベントも今年度で10回目となり、認知度もあがっており、地域のイベントとして定着している。今年度は、学生がツイッターを使ってイベントの告知を行うなど、効率的に周知を行うことができた。引き続き、SNSの活用など、効果的な広報に取り組んでいく。</p> <p>また、今後もイベントの企画に携わってもらえるよう、大学生や高校生、地域団体等に参画を呼び掛けていく。</p> <p>イルミネーションについては、西原公園緑道以外でも活用ができないか、検討を進めていく。</p>				